

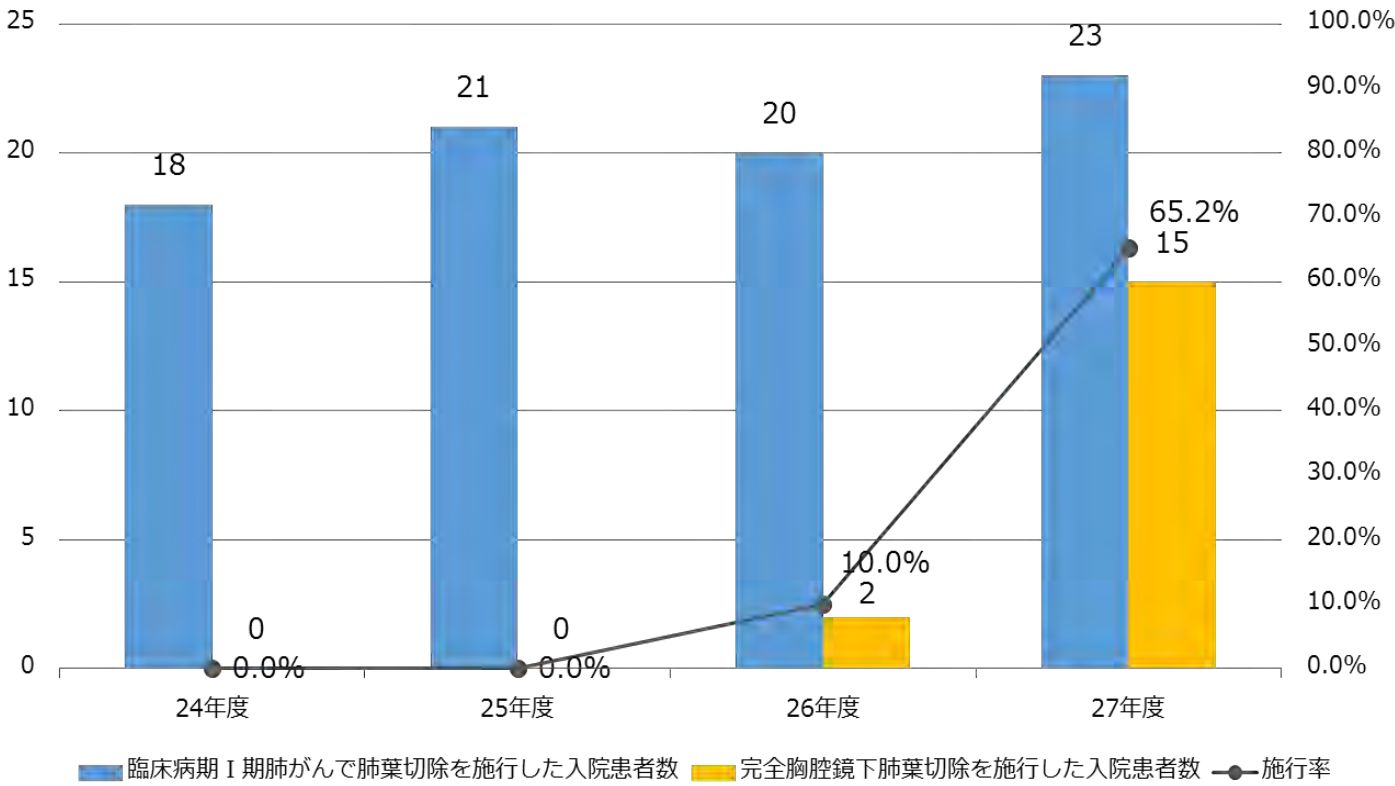
22 臨床病期 I 期肺癌に対する完全胸腔鏡下肺葉切除の施行率

指標の解説

- 完全胸腔鏡下肺葉切除は、標準開胸による肺葉切除と比較して術後合併症の頻度が少なく、胸腔ドレーンの挿入期間及び術後在院日数が短いとの報告がある。
- 完全胸腔鏡下肺葉切除の割合が高ければ、早期肺癌に対する医療の質が高いと言える。

分子：完全胸腔鏡下肺葉切除を施行した入院患者数

分母：臨床病期 I 期肺癌で肺葉切除を施行した入院患者数



26年度より完全胸腔鏡下肺葉切除手術を開始。27年度は、当該手術の実施割合が大幅に上昇した。